
スマブラ×ゲームキャラ、アニメキャラ逃走中 『オータムヴィレッジ編』

竜斗

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

スマブラ×ゲームキャラ、アニメキャラ逃走中『オータムヴィレッジ』編

【ZINEコード】

Z0044Z

【作者名】

竜斗

【あらすじ】

ついに第4弾を迎えた逃走中・・・。
舞台は、『オータムヴィレッジ』という里・・・。
22人の逃走者が、逃走中の幕を擧げる！-。
果たして、逃げ切れる者は、誰だ！？

逃走者紹介（前書き）

作者さんからのリクエストは第4弾の外伝に受け継ぎました。

初めは、逃走者紹介・・・。

逃走者紹介

ローゼンメイデン（7）

水銀燈

相手を小馬鹿にするような猫撫で声だが、本気になると感情的になる。

冷酷非情で好戦的な性格。アリスへの執着心が非常に強く、ローザミスティカを集める為なら手段を選ばない。

ミッションにはあまり行かない。足は遅い。

金糸雀

頻繁に一人で外を出歩く、何度も真紅達を狙うなど、行動的で好戦的。だが実際は策に溺れて自滅する事が殆どで、所謂ドジっ子。それでも失敗にくじけず、自分なりに一生懸命取り組んでいる。ミッションには内容次第で行く。足は遅い。

翠星石

所謂ツンデレな性格で、清楚で淑やかな容姿に合わせかなりの毒舌家。

更に天邪鬼で計算高く高飛車な為、ジュンから「性悪人形」と呼ばれている。

だが実は臆病かつ泣き虫で人見知りな為、すぐ誰かの後ろに隠れてしまう。

ミッションには内容次第で行く。足は遅い。

蒼星石

生真面目で寡黙。双子の翠星石とはいっても一緒にいたが、自分自身をちゃんと持ち

「半身」ではなく「一人」でいられる彼女にはコンプレックスを持つている模様。

翠星石と一入きりの時にしか見せない表情もあったものの、その想いの深さの分だけ

羨みや憎しみも強く、翠星石と敵対した時は戦えることが嬉しいと言つた。

ミッションには積極的。足はかなり速い。

真紅

女王様気質で誇り高く、マナーに厳しいが、契約者との絆を尊重する他、

仲間への思いやりもあり、桜田家に集つ姉妹のリーダー的存在となつてゐる。

常に冷静沈着で貫禄や威厳すら感じさせる言動も多い。

ミッションには時々行く。足は結構速い。

雛莓

泣き虫で甘えん坊かつ我慢で、姉妹の中でも特に幼稚な為、翠星石から「チビ莓」等と呼ばれてからかわれているが、ジコンや巴、姉妹への思いやりは強く優しい。ミッションにはあまり行かない。足は遅い。

薔薇水晶

寡黙で無表情だが好戦的。舌足らずな話し方で、相手の言葉をそのまま真似る癖がある。他のドール達にアリスゲームを唆して、最終的にローザミスティカ全ての占有を狙う。ミッションにはあまり行かない。足は遅い。

プリキュアシリーズ（2）

新参戦の方々

日向咲

そこにいるだけで周囲をパッと明るくさせるムードメーカー的な性格で、舞の兄・和也には「真夏の向日葵みたいな子」と例えられた。その明るさから人と人のパイプ役を無意識に務めることもしばしば。

ミッションにはあまり行かない。足はかなり速い。

前回からの引継ぎ

山吹祈里

おつとりとした性格でのんびり屋だが、自分に自信が持てず、少々引っ込み思案な所がある。そんな内向的な自分を変えようと、ラブ達の結成したダンスユニットに参加することを決意した。ミッションには積極的。足は遅い。

魔法少女リリカルなのは strikers (3)

再参戦の方々

高町なのは

明るく優しい性格で強い正義感を持つが、辛いこと、悲しいことを抱え込んでしまう癖があり、一時期はそれが原因で彼女を心配する友人のアリサとケンカ寸前にまでなった。ミッションには積極的。足は遅い。

フェイト・T・ハラオウン

仕事振りも優秀な一流の魔導師だが、仕事を離れれば親友や子供たちに対して少々過保護なほど世話焼きな性格。ミッションには時々行く。足は遅い。

ハ神はやて

前向きで、優しい心を持った強い少女。しかし、なのはやフェイト同様、辛いことや悲しいことを一人で抱え込む癖があり、シャマルがそれを心配する場面もあった。ミッションには内容次第で行く。足は遅い。

前回からの引継ぎ

マリオ

ラテン系らしく陽気で活発な雰囲気を醸し出すよひとなつておつ、
陽気、友好的、正義感が強い、身体能力が高い、有名人、
オールラウンダーといったヒーローキャラクターとしての
普遍的なイメージが少なからず出されている。
ミッションにはあまり行かない。足は速い。

再参戦の方々

ネス

イーグルランドにある小さな町、オネットに住む12歳の少年。
一見ごく普通の少年だが、超能力を持っている。
おそらく幼いころから超能力を持つていたと考えられる。
ミッションには時々行く。足は速い。

ヤングリンク

コキリの森に住むコキリ族の中でパートナーとなる妖精が来ず、仲間にそれを
からかわれながらも平穏な日々を過ごしていたが、妖精ナビィと出
会い、
森の長であるデクの樹の死をきっかけに森を出て冒険に出る。
ミッションには時々行く。足は結構速い。

ソニック・ザ・ヘッジホッグ

冷静沈着だが、少し短気で、深く考えずに状況の中に飛び込むこともよくある。

しかし、彼の自信は揺るぎなく、それはいかなる困難を前にしても変わらない。

ミッションには時々行く。足は滅茶苦茶速い。

ふよふよ20セレ(3)

前回からの引継ぎ

アルル・ナジャ

魔導師の卵の女の子。天真爛漫、明朗活発、とにかく元氣で、明るくさばさばした性格。純粋無垢だったりシビアで戦闘慣れしている。遺跡探索が趣味。

ミッションには積極的。足は速い。

再参戦の方々

アミティ

プリンプタウンの魔導学校に通つ明るい女の子。

「赤ふよ帽」を愛用しており、本人曰く、自分はこの子と運命を共にしているとのこと。

ミッションには時々行く。足は遅い。

あんじうつん

理系人間で成績優秀、頭の回転が速い。ただし、本人曰く人名を覚えるのは苦手。他方、自分に出来ないことがあると少し対抗意識を燃やしてしまつ負けん気の強い面もある。

ミッションには内容次第で行く。足は遅い。

ロックマンX(3)

新参戦の方々

アクセル

純粋で、はつらつとしている。行動パターンもやや幼く無鉄砲なところがあるため、

当初は生真面目であるエックスと衝突が絶えなかつた。ミッションには積極的。足は速い。

再参戦の方々

エックス

平和を脅かす敵を倒そうとする「正義感」と、敵とは言え破壊することをためらう

「優しさ」を併せ持ち、この2つの挟間で揺れ動き、思い悩みながら戦う様子が描かれ続ける。ミッションには積極的。足は速い。

ゼロ

専用武器、ゼットセイバーを用いて、倒した相手から技を学習する赤いレプリロイド。

エックスのよき理解者であり、戦友であり、先輩であり、無一の親友であり、そして戦うことを見められた最大のライバルである。

ミッションには積極的。足は速い。

逃走者紹介（後書き）

次回は、準備中・・・。

オープニングゲーム？（前書き）

準備中が終わって、ついにオープニングゲームが始まる・・・！！

オープニングゲーム？

ここは、深夜の忍者の隠れ里・・・。

そつ、ここで、逃走中のゲームが行われる・・・！

とある場所に集められた22人の逃走者達・・・。

彼らはこれから、運命をかけ、恐怖のオープニングゲームに挑む・・・！

ハンターまでは、22m。

逃走者は一人ずつ前に進み、鎖を引き抜かなければならぬ。

ただし、22本のうち1本は、ハズレの鎖・・・。

これを引いた瞬間、4体のハンターが一斉に解き放たれ、ゲームが、スタートする・・・！

更に、22本のうち5本は、ドクロマークが着いており、ドクロマークを引くと、逃走者達は2mずつ前進しなければならない・・・。

全員

「こつせーの一で！！」

全員が一斉に鎖を引いた。

アミティ

「つて、13番！？」

マリオ

「俺は22番か～・・・最後だな」

ヤング

「1番！？」つわあ、最悪だ・・・！」

アクセル

「15番・・・結構後の方だから回つてこないかも・・・？」

なお、鎖を引く順番は、くじ引きで決められる。全ては運任せだ・・・。

1人目は、ヤングリンク・・・。

リンクの子供時代。果たして、どうなるのか・・・。

マリオ

「何色だ？」

ヤング

「俺は・・・縁！」

ゼロ

「何でだ?」

ヤング

「自分の色だから

翠星石

「よくある理由ですね・・・」

ヤング

「行くぞ!」

クリアか・・・?

ハンター放出か・・・?

ヤング

「うおらーーー!」

ジャラッ

シーン・・・。

ヤングリンク クリア

ヤング

「ふう、良かつたぜ・・・・・」

クリアした者は、離れた位置からスタート出来る。・・・。

2人目は、翠星石
・・・。

ローゼンマイデンのドールが、最初に立つ……。

「何色？」

真紅

「罪へ説めなさい」で、せしかしたら

翠星石

ネス

「何で？理由は？」

翠星石

「着てる服が薄緑に近いからです」

マリオ

「とにかく、行くです！」

翠星石

クリアか・・・？ ハンター放出か・・・？

翠星石

「それっ！－」

ジャラッ

シーン・・・。

翠星石 クリア

翠星石

「ふう～、良かつた・・・ってドクロマークついてるやうー...」

ネス

「ええ～！？何て事してくれてんの～...？」

翠星石

「これはその・・・運なんですよー！」

ドクロマークを引いた為、逃走者達は2m前進した……。

ネス

「うわあ、結構近づいたな……」

蒼星石

「しょうがないですよ……あれに従わないと」

3人目は、アルル・ナジャ……。

魔道士の卵、鎖の前に立つ……。

雛莓

「アルル、何色?」

咲

「何色なの?」

アルル

「えっと……青!」

真紅

「何で?」

アルル

「僕の着てる色が青だから」

マリオ

「駄目だ・・・3人とも服の色かよ・・・」

アルル

「！とにかく行くよ！」

はやて

「危険かも・・・逃げる準備しといった方がいいかも」

クリアか・・・？ ハンター放出か・・・？

アルル

「うりやつー！」

ジャラッ

シーン・・・。

アルル・ナジヤ クリア

アルル

「良かつた、青引いて・・・つてまたドクロマークー！？」

金糸雀

「な、何でことをしてくれるのかしらーー?」

薔薇水晶

「ありえないわね・・・どうしてくれるの・・・!?」

アルル

「そんな事言われてもうーー!ー!」

ドクロマークを引いた為、逃走者達は2m前進した・・・。

次に、4人目・日向咲が赤を引いてクリア。

次に、5人目・ネスが黄土色を引いてクリア。

次に、6人目・金糸雀が金色を引いてクリア。しかしどクロマーク・。

次に、7人目・ソニック・ザ・ヘッジホッジが橙色を引いてクリア。

次に、8人目・真紅がピンク色を引いてクリア。しかしどクロマーク・。

次に、9人目・エックスが黒色を引いてクリア。しかしどクロマーク・。

次に、10人目・薔薇水晶が薔薇色を引いてクリア。

ドクロマークが5本引かれた為、

逃走者達はハンターボックスまで10m前進した・・・。

マリオ

「うわっ、怖え〜〜！」

祈里

「もう10m進んじゃつた・・・！」

ゼロ

「もうちょっとで俺だ・・・！」

果たして、ハズレの鎖を引き最初に捕まつてしまつ哀れな逃走者は
誰なのか!?

オープニングゲーム？（後書き）

果たして、ハズレの鎖を引き最初に捕まってしまう哀れな逃走者は誰なのか！？

オープニングゲーム？（前書き）

果たして、このゲームの結果は・・・？

オープニングゲーム？

11人目は、ゼロ・・・。

エックスのライバルでもあり、親友のレプリコロイド、リリコ立つ・・・
・。

蒼星石

「何色引くんですか？」

ゼロ

「結構これは悩むぞ・・・」

フェイト

「早く決めてー！」

ゼロ

「つむせえな・・・とりあえず、ここは薄橙色だー！」

水銀燈

「何か嫌な予感がするわ・・・」

なのは

「逃げる準備を・・・！」

ゼロ

「せつてやる・・・！」

クリアか・・・? ハンター放出か・・・?

ゼロ

「どうやあつー!」

ジャラッ

シーン・・・。

ゼロ クリア

ゼロ

「よし、ドクロマークはついてねえ・・・!」

祈里

「良かつた・・・もう出ないでしょ

マリオ

「誰もハズレ引くなよ・・・!」

12人目は、水銀燈・・・。

ローゼンミスティカを狙う、第1ドール・・・。

アミティ

「あの子、何か危険な臭いが……」

水銀燈

「失礼ね……私がハズレ引くとでも？」

りんご

「アミティ、失礼だよ……！」

アミティ

「そうだつたんだ……」

水銀燈

「とにかく、紫色を引くわよ」

フェイト

「紫……何か嫌な予感がするわ……！」

水銀燈

「行くわよ！」

クリアか……？ ハンター放出か……？

水銀燈

「はあっ！！」

ジャラッ

シーン・・・。

水銀燈 クリア

水銀燈

「皆・・・不幸ねえ・・・」

蒼星石

「小馬鹿にしてる・・・」

13人目は、アミティ・・・。

プリンプタウンに通う明るい女の子、ここに立つ・・・。

マリオ

「あいつ結構引き立つだな・・・」

フェイント

「もう誰でもいいから・・・」

アミティ

「それじゃあ・・・銀色ー」

フロイト

「何か中途半端な色ね……どうしてそれを選んだの?」

アミティ

「なんとなく。思いつきで」

蒼星石

「絶対に引きそびれます、あの人……！」

マリオ

「逃げる準備を……！」

アミティ

「行くよ～……」

クリアか……？ ハンター放出か……？

アミティ
「えいっ！」 ジャラッ

シーン……。

アミティ クリア

アミティ

「良かつた～・・・銀色でも当たつたんだ」

雛莓

「めちやくひやこわかつたよ～ーーー」

14人目は、高町なのは・・・。

魔導師のエース・オブ・エースがここに立つ・・・。

なのは

「いよいよ私の出番か・・・何色引いつかな?」

マリオ

「だけどハズレは絶対に引くなよ・・・!」

なのは

「わかつてるつて・・・!」は黄色ーーー

はやて

「き・・・黄色・・・」

蒼星石

「何か危ない予感がします・・・!」

なのは

「皆、絶対にハズレは引かないからねー！」

クリアか・・・？ ハンター放出か・・・？

なのは
「ふりやつーー！」 ジャラッ

シーン・・・。

高町なのは クリア

なのは

「やつた・・・ドクロマークは無いー！」

フェイエ

「良くやつたわ、なのはー！」

15人目は、アクセル・・・。

はつらつ性格のレプリロイド、ここに立つ・・・。

フェイト

「何色?」

アクセル

「そうだなー・・・じゃあカーキ!」

はやて

「うわっ、絶対にハズレそうや・・・」

マリオ

「ハズレの可能性が滅茶苦茶高え・・・!」

アクセル

「何? とにかく引くぞ!」

クリアか・・・? ハンター放出か・・・?

アクセル

「どりゃあっ!」 ジヤラッ

ガコン!――!

全員

「うわあああああー!――!」

プシュー！！！！

4体のハンターが、放出された・・・。

ゲーム、スタート・・・。

ハンターの標的は・・・。

アクセル

「うわあああああ～、来るな～！！」

アクセルだ・・・。

尚、アクセルはそのまま逃げ続ける。

しかし彼がハンターを振り切れる訳が無い。最早、逃走不可能・・・。

アクセル

「ぐあ～～～！」　　ポンッ

>↓36136—4260<

アクセル

「嘘だろ・・・！？」ここで終わるのかよ・・・！？」

幸せばかりでは、無い・・・。

プルルルル

ゼロ

「何だ・・・！？『アクセル確保』やはりな・・・」

ヤング

「あいつ最初に確保されるし・・・！」

蒼星石

「何て事をしてくれたんですか、あの人は・・・！」

翠星石

「あの人・・・新参戦の癖に・・・ほんとに・・・本当に何しに来たの・・・！？」

ハンターから逃げた時間に応じて賞金を獲得出来る、それが・・・

run for money 逃走中

今回の逃走舞台は、『オータムヴィレッジ』。

季節は秋、忍者の隠れ里が舞台である。

更に、城も堀も立つており、まさに戦国の様だ・・・。

ゲーム時間は120分。逃走者達はこの狭いエリアから逃げ回る。

果たして、誰が生き残るのか・・・！？

オープニングゲーム？（後書き）

今回の逃走舞台は、『オータムヴィレッジ』。

季節は秋、忍者の隠れ里が舞台である。

更に、城も堀も立つてあり、まさに戦国の様だ・・・。

ゲーム時間は120分。逃走者達はこの狭いエリアから逃げ回る。

果たして、誰が生き残るのか・・・！？

〃シシニア発動ー（前書き）

ついに、本編が始まった・・・！

//シショノー発動！

真紅

「ついに来た、逃走中……」

真紅は気合を入れる……。

雛莓

「足おそいからなー……うまくにげきれるかなー？」

雛莓、自信があまり無さそうだ……。

ネス
「あつ、ハンター怖いぜ……！」

ネスはすぐに身を隠す。

ネス
「ハンター怖いぜ……！」

ネス、ハンターに怯える……。

翠星石

「？あればエックスとりん」が合流してゐるです……！」

翠星石はすぐに身を隠す。

翠星石

「ロボットと人間が合流してゐなんて気持ち悪いです……」

「…しかもロボットに恋してる人間なんて見た事がありませんです・・・」

翠星石は2人に悪口を言い、余計気分が悪くなつた。・・・。

ヤンケ

ヤングリンクは興奮して来る。。。

「2万・・・2万1千円・・・すげえ金たまつていく・・・!!」

祈里

祈りは気を集中する。・。・。

マリオもすぐ隠す。

「何故ロボットに恋を・・・」

マリオは小声で2人の悪口を言つ。

エックス

「前回は活躍してない奴等がどんどん捕まつてゐるんだよな・・・」

りんご

「どうすんのこれ・・・？」

彼らの近くに、ハンター・・・。

> 3 6 1 4 8 — 4 2 6 0 <

ハンター

「！」

見つかった・・・。

エックス

「・・・！？ハンター来てる！—嘘だろう！—？」

りんご

「嘘！？逃げるわよ！—！」

2人は一目散に逃げる。

ハンターの標的は・・・。

エックス

「チツ」

エックスだ・・・。

尚、エックスはそのまま逃げ続ける。

しかし彼がハンターを振り切れる訳がない。最早、逃走不可能……。

エックス

「つぎやあーーー！」 ポンッ

>↓36149—4260<

エックス

「この俺が……やられるだと……ーーー？」

ロックマンXの主人公、早くもここに散った……。

プルルルル

りんご

「まさか……『湖付近にてエックス確保』
うわつ、確保されてるし……ーーー！」

水銀燈

「あの人バカね……何もせずに捕まってるし……ーーー！」

ネス

「ロックマンX組情けなさすぎる……ーーー！」

薔薇水晶

「あら？この行列は・・・」

薔薇水晶は姫の屋敷にたどり着く。

兵士A

「ここからは立ち入り禁止だ。『黒い服』を着ている者以外は
中に入る事が出来ない」

薔薇水晶

「そう・・・」

薔薇水晶は入るのを諦めた。

薔薇水晶

「何なのかしら一体・・・？」

その頃、姫が住む城にて・・・。

姫（役：キャロ・ル・ルシエ）

「これはこれは、またお悩みの人がいるようですね・・・」

姫は城から出、人々を助けようとする・・・。

姫の前には・・・。

住民A

「姫様！お願いします！どうか、この米を・・・！」

住民B

「私達を助けて下さい・・・!」

姫（役・キャロ・ル・ルシエ）

「焦らないで下さい・・・この秘法、『時の鏡』があれば

姫は時の鏡を取り出す・・・。

姫（役・キャロ・ル・ルシエ）

「・・・!」

姫は呪文を唱える。

何と、沢山の米俵が姫と住民達の間に出現した！

住民A

「あ、ありがとうございます!」

住民B

「この恩は一生、忘れません!」

姫（役・キャロ・ル・ルシエ）

「いいのですよ・・・」

姫は微笑む。

姫の屋敷に、賞金減額装置が設置された・・・。

その時、米俵が出現したと同時に謎の装置が出現した・・・。

プルルルル

ゼロ

「何だよ、いきなり・・・・・?』『ミジシヨン一ー』ー.?

蒼星石

「『残り100分までに姫の屋敷にある賞金減額装置2台のレバーを両方下ろさないと』、

咲

「『以降の賞金単価が100円となる』ええつー・?』これはヤバいくて!!」

水銀燈

「『屋敷に入る条件は、黒服の着用あるいはワラ・果物の種のどちらかの持参』

・・・何この条件は・・・?

このミッショーンでは住民からワラ・果物の種をもひつ事になる。譲渡してくれる住民は限られており、入場には順番待ちも必要。

残る逃走者は、

水銀燈、金糸雀、翠星石、蒼星石、真紅、雛苺、薔薇水晶、咲、祈
里、なのは、フェイト、
はやて、マリオ、ネス、ヤング、ソーテク、アルル、アミティ、り

ん♪」、ゼロの20人・・・。

マリオ

「どうじょうか・・・ここは行かない方が・・・」

ゼロ

「行くしかねえだろ、こりゃ・・・」

ヤング

「阻止する為にも、行かなければ・・・」

蒼星石

「行きます・・・」

翠星石

「難しそうだから行きませんですう・・・」

祈里

「これは行かないといけないよ・・・」

なのは

「どうじょつ・・・行こう

アルル

「決めた、行く!!!」

結構の数の逃走者が、ミッションに参加する様だ・・・。

雛
苺

「 もうひとつと楽かとおもってたよ、このゲームは・・・
しかもめでたしかにシシコンも出でるじゃあ・・・」

雛苺はトボトボとハンターに気をつけながら歩く。

だが、彼女の近くに、ハンター・・・。

^ . ^ 3 6 1 5 0 | 4 2 6 0 ^

雛
苺

「 こりゃ見つからないかも・・・ってハンター！？」

ハンター

「 ー 」

雛苺の声で、見つかった・・・。

雛
苺

「 ザつたに逃げ切つてやるんだからーーー！」

雛苺は一田散に逃げる。

しかし彼女がハンターを振り切れる訳がない。最早、逃走不可能・・・。

雛
苺

「 いやーーー！」

ポンッ

雛
莓

「もういや〜・・・！」

ローゼンメイデンのドール、早くも散る・・・。

プルルルル

マリオ

「何だ何だ・・・！？『忍者の隠れ岩にて雛莓確保』
コイツは結構早く捕まりそうな予感がしたんだよな〜・・・」

真紅

「雛莓確保・・・！？残り19人！？」

ヤング

「雛莓も確保されたのか・・・！？」

アルル

「あの子にはもうちょっと頑張って欲しかった・・・！」

果たして、賞金減額を阻止出来るのか！？

〃シ・シ・シ・ン・一発動！（後書き）

果たして、賞金減額を阻止出来るのか…？

（賞金の数がおかしいといつシッ 〃〃まなしでお願いします）

賞金減額を阻止せよー（前書き）

僕が特に気に入りの作品はローゼンメイデンとリリカルなのはとプリキュアです。

スマブラとぷよぷよは少しだけ好きな作品です。

ロックマン×ビデオゴンボールとソニックシリーズはあまり知りません。

とこうかぶつちゃけ言って興味がありません。

少し関係無い話でした。では本編に戻します。

残り100分までに姫の屋敷にある賞金減額装置2台のレバーを両方下ろさないと、

以降の賞金単価が100円となる。屋敷に入る条件は、黒服の着用あるいはワラ・果物の種のどちらかの持参。

このミッションでは住民からワラ・果物の種をもらう事になる。譲渡してくれる住民は限られており、入場には順番待ちも必要。

ヤング

「着いたな・・・」

ヤング、姫の屋敷前に到着・・・。

兵士

「そこのお前！果物の種は持つて来ているのか？」

ヤング

「果物の種・・・？」

屋敷に入るには、ワラ、果物の種のどちらかが必要だ・・・。

兵士

「持つて来てないなら出直して来るんだな」

ヤング

「はあ・・・」

ヤングは果物の種を探しに行つた。

ヤング

「果物の種か・・・ってかすぐ近くなのによ・・・！
そんな物持つて行く暇ねえんだよ・・・！」

アルル

「多分もうすぐ着くよね・・・あつ！あれかな・・・！」

その時、ヤングがアルルに話しかけてきた。

ヤング

「アルル？姫の屋敷に入るにはワラか果物の種が必要だつて・・・」

アルル

「わかつてゐよ・・・今誰かに貰いに行く途中だつて・・・」

ヤング

「本當か・・・」

アルルはそのまま果物の種かワラを探しに行つた。

マリオ

「しつかし忍者の隠れ里なのに忍者が一人もいねえな・・・」

マリオ、この里を観光する様にエリア内を下見する・・・。

真紅

「住民が近くにいなゐわ・・・冗談じやない・・・！」

真紅、彼女も行く様だ・・・。

ゼロ

「ん？果物の種か・・・おい、そこのお前等

ゼロ、住民を発見する・・・。

住民A

「何ですか・・・? もしかして」

ゼロ

「果物の種欲しい・・・! だからくれ

住民A

「無理ですよ・・・!」これは姫様に持つて行く物ですから・・・!
!」

ゼロ

「どうしてもか・・・! ?

住民A

「どうしてもです・・・!」

ゼロ

「・・・仕方ない、ここは諦めよつ

ゼロは住民に礼を言い、果物の種を諦めた。

ゼロ

「ああっ、クソッ! !」

牢獄D Eトーク

雛
母

「もつしょっぱなから3人もかくほされても～・・・」

エックス

「俺達つて、不運だよな・・・」

雛
母

「・・・所できくけどね。アクセル、なにじこきたの?」

アクセル

「おい! 雛母、何て事を・・・?」

雛
母

「しんせんのくせに何であんな情けないつかまりかたしたの～・
・・?」

アクセル

「あれは、たまたま・・・」

咲

「あっ、ハンターいるこる・・・?」

咲はすぐに身を隠す。

咲

「・・・って?あれソーックじゃん・・・」

咲、ソニックが遠い所で走っている所を発見する・・・。

咲

「無闇に動いたら捕まるつて・・・！」

ゼロ

「チツ、ソニも無しか・・・！」

ゼロ、果物の種を上手く集められない・・・。

そんな不運な彼の近くに、ハンター・・・。

> 136200 | 4260 <

ゼロ

「他を当たるか・・・つてハンター！？」

ハンター

「！」

見つかった・・・。

ゼロは一目散に逃げる。

しかし彼がハンターを振り切れる訳が無い。最早、逃走不可能・・・。

ゼロ

「つぎやーー！」 ポンッ

> 136202 | 4260 <

ゼロ

「マジか・・・！』これはキツイって・・・！』

俺等は貧乏神が背後に付いてるしか思えないって・・・！』

ロックマン×組、全滅・・・。

ブルルルル

真紅

「つむさいわね・・・！』『ゼロ確保』何やつてんのよあの人・・・！』

マリオ

「アイツ逃げ切るんじやなかつたのかよ・・・！』

はやて

「もう18人つて・・・！』てかあの人等情けなさすぎるわ・・・！』

ヤング

「あれか・・・！』お~い！』

ヤング、住民を発見・・・。

住民B

「何ですか・・・?」

ヤング

「あつ、果物の種・・・それ分けてくれ!」

住民B

「いいですよ・・・少し重たくて誰かに手伝って貰おうと思つてしま
したから・・・」

ヤング

「よし・・・!果物の種代わりに持つて行くぜ・・・!」

ヤング

ヤングリンク 果物の種獲得

ヤング

「あとは、これを持つて姫の屋敷に行くつて事だよな・・・!」

なのは

「あれっ・・・?あれヤング君?」

なのは、ヤングを発見する・・・。

なのは

「ここは分けて貰いたい所だけど、住民から貰つた物だしね・・・」

なのは、上手く獲得出来ない・・・。

蒼星石

「あれ・・・・? 住民じゃないですか・・・?」

蒼星石、住民を発見・・・。

蒼星石

「ワラを持っていますね・・・すみません~!」

住民

「はい・・・? 何でじょうか・・・?」

蒼星石

「それ、持つの厳しくありませんか・・・?」

住民

「・・・はい、少し厳しくて・・・良かつたら代わりに・・・」

蒼星石

「勿論です! 引き受けましょう!」

住民

「あつ、はい・・・! ありがとうございます・・・!」

蒼星石 ワラ獲得

蒼星石

「見てて下さいよ・・・・！」

蒼星石は姫の屋敷へと向かつた。

祈里

「もう18人か・・・何か確保ペースが早い様な・・・」

祈里、確保ペースに疑問する・・・。

牢獄DEトーク

雛莓

「ロックマン×組全滅つて・・・あんたらなにしこきたの・・・！

?本当に

ゼロ

「あれは手違いだ・・・！-！」

雛莓

「どういらへんだよ・・・-！」

果たして、姫の屋敷に入る事が出来るのか！？

賃金減額を阻止せよ。-(後書き)

果たして、姫の屋敷に入る事が出来るのか！？

IIシショノヘ終ヘ（前書き）

果たして、IIシションは成功なるのか・・・・・?

ミミシヨン一終マ!

ミミシヨン一終マ!

ソニック

「早く終わっててくれよ・・・!」

ソニック、こちらは人任せの様だ・・・。

真紅

「あれ・・・!見つかったわ

真紅、住民を発見・・・。

真紅

「ちょっと・・・果物の種持ってる?」

住民D

「持つてますけど・・・どうかしたんですか?」

真紅

「私が代わりに持つて行くから、それ頂戴・・・!」

住民D

「代わりにですか・・・助かりました!ありがとうございます! ではこれを!」

真紅

「やつたわ・・・・!」

真紅 果物の種獲得

真紅

「早く姫の城に持つて行かないと・・・・!」

ヤング

「屋敷に着いた・・・つて行列長え・・・・!」

ヤングは屋敷の前に着くが、住民の行列でいっぱいだ・・・。

ヤング

「おい、『冗談じゃねえぞ・・・・!』これを待たなきゃ行けねえのかよ・・・・!?」

ヤング、少し急かし気味だ・・・。

翠星石

「一体どれだけかかるんですか・・・・?」

翠星石は、退屈がっている・・・。

その時。

プルルルル

翠星石

「えっ・・・!? 何なんですか・・・!?

『ミッショントラン途中経過』・・・

ネス

「現在果物の種を持つている者はヤングリンク、真紅の2人。ワラを持つている者は蒼星石の1人。まだ装置には触れていな

い」

ええっ! ? ちょっと、早くしてよ・・・! ..

ソニック

「この野郎・・・やつをとじろよ・・・! ..

ソニック

「めんどくさい・・・ていうか動きたくないし・・・! ..

ソニック、何故か動く氣は無さそうだ・・・。

しかし、彼の近くに、ハンター・・・。

ハンター

「・・・

ソニック

「かつたりいけど少し移動するか・・・」

ソニック、移動を始める。が・・・。

ハンター

「！」

見つかった・・・。

ソニック

「・・・ぎやえ～！～！」 ポンッ

> 136216 — 4260 <

ソニック

「こ・・・の俺が・・・油断しただと・・・！？」

自分で楽しようとした、罰だ・・・。

プルルルル

真紅

「何よ、こんな時に・・・！』『湖付近にてソニック・ザ・ヘッジ
ホッグ確保』

・・・あの人つたら・・・！』

蒼星石

「確かに人の、自分で樂する所を見た様な……
そういう人は罰が当たるんですよ……！」

アミティ

「ええ～！？捕まつたの～！？」

フェイト

「どうしてくれるのよ……！？」

逃走中の大本命がここで散るなんて絶対におかしいわよ……！

ヤング

「よし、行列は空いた……！」

ヤングは果物の種を持ち、姫の屋敷内へと入った。

最上階には、装置が2つ設置されている……。

ヤング

「あつ、レバー2つあるし……！誰か来てくれ……！」

その時、蒼星石がヤングの近くに着いた……。

蒼星石

「ヤングさん……！遅れてしまつてしません」

ヤング

「いいつて……後、それよりこの装置のレバーを降ろそつ……！」

蒼星石

「はい……！」

2人は両方のレバーを降ろす。

賞金減額阻止装置 起動 残り1個

ヤング

「後、もうひとつあるからそれも降ろしてしまおうぜ……！」

蒼星石

「はい……！」

2人はもうひとつ装置の両方のレバーを降ろす。

> 136217 — 4260 <

ヤング

「おっしゃ……！蒼星石サンキュー……！」

蒼星石

「いいですよ・・・・!後もつすぐ降りましょ・・・・!」

ヤング

「それもやうだな・・・・!」

2人は姫の屋敷から出た。

ブルルル

翠星石

「あれ?まさか・・・『ミシシヨンクリア情報』やつた~!」

真紅

「『ヤングリンク、蒼星石の活躍によつてミシシヨンクリア私が着く前にクリアしちゃつてるじゃない・・・・!これ、どうじょう・・・・!』

祈里

「ええ~!クリアしたのはいいけど・・・

アルル

「ボク達が着く前にクリアしちゃつたんだ・・・でも嬉しいよ

離
母

「あなた・・・ほんと・・・ほんとに讀せなれやね・・・」

「」

ソニシク

「あれは、おこ、離母・・・わかつへれよ・・・」

離
母

「ニヤニヤ笑ひして」

ソニシク

「そんなんあ〜・・・」

ソニシク、離母に説教されていた・・・。

//ミッション終了！（後書き）

ソニックは雑誌に説教されていた・・・。

だが、ミッションは成功した・・・。

残る逃走者は、

水銀燈、金糸雀、翠星石、蒼星石、真紅、薔薇水晶、咲、祈里、な
のは、フェイト、はやて、マリオ、ネス、ヤング、アルル、アミテ
イ、りんごの17人・・・。

〃ミシミシヨン発動！（前書き）

新たなミシミシヨンが発動される・・・！

//ミッション2発動！

祈里

「ミッション1は終わったね・・・絶対に逃げ切りたい・・・！」

祈里、逃走成功を狙う・・・。

真紅

「あの種は返してきたわ・・・本当辛いし・・・！」

真紅は住民に種を返した様だ・・・。

ヤング

「あつ、ハンターいるって・・・！」

ヤングはすぐに身を隠す。

その頃、忍者は・・・。

忍者（役：エリオ・モンティアル）

「時の鏡・・・あれは何かの手がかりになりそうだ・・・！」

忍者は姫の屋敷へと忍び込む。

忍者（役：エリオ・モンティアル）

「・・・！誰か来た・・・！」これは何かの仕掛けでも作ってお

くか・・・

そいつと同時に忍者は煙幕弾を床に投げ、謎の装置を設置した・・・。

忍者（役：エリオ・モンティアル）

「いたん退散だ・・・！』

忍者は瞬間移動の術を使い、姫の屋敷から脱出した・・・。

プルルルル

ヤング

「だからひねせえつて・・・！携帯・・・！

『ミッション2』！？

真紅

「『姫の屋敷の最上階に写真認証装置が設置された』

『写真・・・？』

金糸雀

「『他の逃走者との2ショット写真を撮り送信しないと強制失格』嘘かしらー？何でかしらー！？』

はやて

「誰かと会って2ショット写真を撮れつちゅうのか・・・」

牢獄DEトーク

雛
苺

「2ショット写真ね～・・・」

ソーラー

「こうなつたら薬壺石と祈里に頑張ってほしい・・・」

アクセル

「俺は咲とヤングだな・・・」

雛
苺

「出たよ、『かわりにがんばってほしい』願い

アミティ

「2ショット写真ねえ・・・ってハンターいるじゃん・・・!?

アミティはすぐに身を隠す・・・。

ハンター

「・・・」

しかし、ハンターは、まだ気づいていない・・・。

アミティ

「良かつた・・・いったん動こう」

アミティはハンターに殴りかかるよつか、殴りかねこよつか一か
八か動く……。

だが……。

ハンター

「…」

見つかつた……。

アミティ

「よし、いないつたら……つてハンター！？」

ハンター

「！」

アミティは一目散に逃げる。

しかし彼女がハンターを振り切れる訳がない。最早、逃走不可能・
・。

アミティ

「ひぎやあーーー！」

ポンッ

× 36269 — 4260 ×

「…」こんな所で終わるの……うわあ、酷過だわ……

アミティ

「…」

プルルルル

アルル

「だから何・・・・・？」草原付近にてアミティイ確保
ええ～！？捕まつたの～！？」

蒼星石

「アミティイさんが捕まつた・・・・・！」

ヤング

「誰かいないのか・・・・・？」あつ、翠星石・・・・・・

翠星石

「何ですか・・・・・？」

ヤング、翠星石と合流・・・・。

ヤング

「一緒にあつたから写メ撮つてくれ・・・・・・」

翠星石

「勿論です・・・・・！」

ヤングは携帯を取り出し、2シヨウツで撮る。

ヤングリンク、翠星石 // リシヨンクリア

ヤング

「送信・・・よし・・・後の奴等は・・・!?」

翠星石

「あつ、ハンターきてるです・・・!」

ヤング

「マジでか・・・!?」

2人は咄嗟にすぐに身を隠す。

アルル

「ちょっと・・・誰かいの・・・!?」

その時、蒼星石と会った・・・。

蒼星石

「アルルさん・・・? 丁度良かつたですね・・・!」

蒼星石は急かし気味だ・・・。

アルル

「2人なんだから、一緒に写真撮るつよ」

蒼星石

「そうですね……」

蒼星石は携帯を取り出し、2ショットで撮る。

蒼星石、アルル・ナジヤ ミッショングリア

蒼星石

ア川

はやて

はやで、なのはを探しここに迷う・・・。

マリオ、この男はあまり動きたくない様だ・・・。

薔薇水晶

「あつ、ハンターいるいる・・・！」

薔薇水晶はすぐに身を隠す・・・。

りんご

「誰でも良いから来てよ・・・！一大事なんだからあ・・・！」

りんご、逃走者を探す・・・。

果たして、全員、2ショット写真を撮れるのか！？

//シヨン2発動！（後書き）

果たして、全員、2シヨット写真を撮れるのか！？

2ショット写真を撮れ！（前書き）

果たして、全員、2ショット写真を撮れるのか！？

2ショット写真を撮れ！

残り80分までに全員2ショット写真を撮らないと、強制失格となる……！」

なのは

「う～ん、何か難しい……！誰でも良いから来て……！」

なのは、ハンターに怯えて動けない……。

水銀燈

「早く誰か来なさいよ……！そもそもないと……！」

水銀燈は誰かが来ない事に苛立つている……。

ネス

「おうわ～、ここもハンターいるじゃん……！」

ネス、上手く隠れ、やり過げず……。

翠星石

「クリアしたのは良いけど、この後どうしよう……！」

翠星石は隠れ場所を探している……。

りんご

「こうなつたら誰かに電話しよう……！」

りんごは電話を用意する。

りんご

「えっと……誰に……つてハンター！？」

ハンター

！」

見つかつた。・。・。

4260 V 1982-36931.v

りんご

卷之三

しかし至近距離で見つかった為、最早、逃走不可能・・・。

「ぐわあ～！！」
ボンツ

426086-3621361

りんご

「マジでー・・・！？私不幸すがる・・・ー。」

プルルルル

蒼星石

「何ですか・・・？」『忍者の町にてあざむひつご』確保
りんご』これまで・・・』

咲

「もう15人・・・!!減るスピードが異常じやない・・・」

アルル

「今度はりんご捕まつた・・・つてハンターーー?」

近くにいたハンターが、アルルを追う・・・。

アルル

「いきやーー!!」

アルルは一田散に逃げる。

しかし至近距離で見つかつた為、最早、逃走不可能・・・。

アルル

「ふきやあーー!!」 ポンッ

> 3 6 2 8 8 | 4 2 6 0 <

アルル

「もういやだ・・・最悪すぎる・・・!!折角!!シモンクリーアしたのに・・・!!」

この世は全てが上手く行くとは限らない・・・。

ブルルルル

翠星石

「何ですか・・・!?『アルル・ナジャ確保』
ま、また確保情報です!?」

フェイト

「もう14人・・・これはおかしいわ・・・!?

金糸雀

「誰か来てくれないかしら・・・!?

金糸雀は近くの曲がり角で待っている・・・。

その時、山吹祈里が金糸雀の元に走って来た・・・。

祈里

「金糸雀ちゃん・・・!?早く撮りひよ・・・!?

金糸雀

「あつ、助かつた・・・!?じゃあ早速撮りひよかしら・・・!?

金糸雀は携帯を取り出し、2シヨウシット写真を撮る。

金糸雀、山吹祈里 ミッショングクリア

金糸雀

「助かつたかしら・・・・」

祈里

「良かつたよ・・・・!」

2人は一安心する・・・・。

牢獄DEトーク

雛苺

「何もせずおわってるじゃない・・・・!」

アルル

「ええ～!/?ボクだつてちゃんと・・・・」

雛苺

「・・・まあいいよ・・・・」

雛苺は怒る気が失せた様だ・・・・。

これまでクリアしている者は、

金糸雀、翠星石、蒼星石、祈里、ヤングの5人……。

まだクリアしていない者は、

水銀燈、真紅、薔薇水晶、咲、なのは、フェイト、はやて、マリオ、
ネスの9人……。

マリオ

「残りは14人……誰か来てくれ……！」

その時、ネスがマリオの元へ向かって来た……。

ネス

「マリオ……！……ビビったの？早く写真撮るつよ……！」

マリオ

「わかつてらあ……！……ちょっと待てよ……！」

マリオは携帯を取り出し、2シヨウット写真を撮る。

マリオ、ネス ミッションクリア

マリオ

「ふう……もう強制失格のミッショントリビンだぜ……！」

ネス

「ああ～、しんどかった・・・！」

2人は壁にもたれかかる・・・。

その時、咲がマリオ達の元に向かって来た・・・。

咲

「マリオ君・・・？ネス君・・・写真撮る？・・・！」

マリオ

「そうか・・・お前クリアしてなかつたんだな・・・ちょっと待て

よ

咲

「いいよ、こっちが撮るから」

咲は携帯を取り出し、2ショット写真を撮る。

日向咲 ミッションクリア

咲

「やつた・・・！成功ナリ・・・！」

牢獄DEトーク

アクセル

「こうなつたら皆を応援するか・・・咲、ヤング、頑張れ!-!」

ゼロ

「蒼星石!-翠星石!-ネス!-ファイトだぜ!-!-!」

エックス

「何で終盤に入った様な言い方してんだよ・・・!-?」

残る逃走者は、

水銀燈、金糸雀、翠星石、蒼星石、真紅、薔薇水晶、咲、祈里、な
のは、フェイト、
はやて、マリオ、ネス、ヤングの14人・・・。

果たして、まだクリアしていない者は無事成功出来るのか!-?

2ショット写真を撮れ！（後書き）

残る逃走者は、

水銀燈、金糸雀、翠星石、蒼星石、真紅、薔薇水晶、咲、祈里、な
のは、フェイト、
はやて、マリオ、ネス、ヤングの14人・・・。

果たして、まだクリアしていない者は無事成功出来るのか！？

〃ミッション終了!しかし・・・。(前書き)

残るは、6人・・・。

「シヨン2終アーラーしかしそう。

ヤング

「まだクリアしてねえのは後6人……誰か来てくれ……！！」

ヤングは重複する気持ちで誰かを待っている様だ。・・・。

牢獄DEトーグ

鵝
莓

「思つたんだけどさ・・・あんたら何しにきたの?
ていうかエックスとかゼロとかアクセルとか誰?」

雑誌はロックマンX組を知らない様だ・・・。

アクセル

「お前知らねえのかよ・・・!?

真紅

「なのは・・・?」

なのは

「真紅ちゃん……………? 早く写真撮りいよ……………。」

真紅

「そんなの決まってるじやない・・・!」

真紅は携帯を取り出し、2ショット写真を撮る。

真紅、
高町なのは ミツシヨンクリア

真紅

その人物とは・・・。

はやて

「なのせぢやん〜！〜」

八神はやてだ
・
・
・
。

はやて

「一緒に写真撮ろうや、時間無いから……！」

「勿論・・・！」「のは

はやては携帯を取り出し、2ショット写真を撮る。

ハ神はやて ミッションクリア

はやて

「危機一髪や～・・・」

水銀燈

「誰か来なさいよ・・・！－」のノロマ共が・・・－！」

水銀燈はついに罵声を発言した・・・。

その時、フエイトが水銀燈の元へ走つて來た・・・。

フエイト

「水銀燈・・・？早く[写真撮ろ]つよ・・・！－」

水銀燈

「わかつてゐわよ・・・！－はい携帶」

水銀燈は携帶を用意し、写真を撮る。

水銀燈、フエイト・T・ハラオウン ミッションクリア

水銀燈

「やつとクリアしたわ～・・・ああ、精々した・・・！」

フェイト

「残つてゐる子は誰なの・・・！？」

薔薇水晶

「冗談じやないわ・・・！－！」の中を彷徨えつての・・・！？」

唯一、2シヨット写真を撮つていない、薔薇水晶・・・。

その時・・・。

ハンター

「！」

見つかった・・・。

薔薇水晶

「誰か来て・・・つてハンター！？」

薔薇水晶は一目散に逃げる。

しかし彼女がハンターを振り切れる訳が無い。最早、逃走不可能・・・。

薔薇水晶

「あつい～！～」 ポンッ

薔薇水晶

「誰も来ないとか・・・マジで酷過ぎやねわ・・・」

不運な、薔薇水晶・・・。

プルルルル

ヤング

「何だ・・・!?」忍者の町にて薔薇水晶確保
薔薇水晶、多分間に合わなかつたんだつたつけな・・・」

ネス

「『更に、全員2ショット写真を撮つた為強制失格者は無し』
多分薔薇水晶で捕まつて終わつたんだと思つよ・・・」

その頃、忍者達は・・・。

忍者（役・エリオ・モンティアル）

「敵軍はここにはいない・・・姫の秘法を何としても奪い取つてみ
せる・・・」

忍者はある手がかりを探す為に必死だ・・・。

女忍者（役・ティアナ・ランスター）

「・・・・！？敵が攻めてきたわ・・・・！」

忍者（役：エリオ・モンディアル）

「本當か・・・・！？この爆竹で一氣にぶつ倒すぞ！！」

女忍者（役：ティアナ・ランスター）

「ええ・・・・！」

2人は爆竹を取り出し、敵軍に投げつける・・・・！

敵軍

「ぐわあああああ～！・・・・！」

敵軍は炎に包まれた・・・・。

忍者（役：エリオ・モンディアル）

「・・・他にも敵軍がいるかも知れない。

僕達の仲間に笛で敵軍を知らせる様にと伝えてくる・・・・！」

女忍者（役：ティアナ・ランスター）

「ぐれぐれも見つからない様にね・・・・！」

そういうと同時に、忍者は他の仲間に伝えに行つた・・・・。

プルルルル

真紅

「何・・・・！？『ミッション3』！？」

マリオ

「『君達逃走者は住民達に疑いをかけられた
はあ！？また全員行動かよ！？』

金丝雀

「残り60分までに奉行に右腕を見せ 疑いを晴らさなければ」

は
せ
て

ケーブル終了まで永遠に疑われる事になる』・・・!!』

ヤング

はあ！（今度は少しを隠させかよ……！）

牢獄D.E.T.O.ク

薔薇水晶

「ああ～、悔しい・・・」

薔薇水晶はトボトボ牢獄に入る。

鵝 莓

「おしいね」・・・

ゼ
ロ

ああ、暇だ・・・・・！」

残る逃走者は、
水銀燈、金糸雀、翠星石、蒼星石、真紅、咲、祈里、なのは、フェ
イト、はやて、
マリオ、ネス、ヤングの13人……。

果たして、疑いを晴らす事が出来るのか！？

〃シショソニ終ア！しかし……。（後書き）

残る逃走者は、

水銀燈、金糸雀、翠星石、蒼星石、真紅、咲、祈里、なのは、フエ
イト、はやて、

マリオ、ネス、ヤングの13人……。

果たして、疑いを晴らす事が出来るのか！？

疑いを晴らせー（前書き）

果たして、全員、疑いを晴らせるのか！？

疑いを晴らせ！

住民は見つけても不審がるだけで騒がないが、忍者達に見つけられると笛で通報される。

通報部隊出動だ・・・。

真紅

「通報部隊出動ね・・・！これは早めに行つといった方がいいわ・・・！」

ヤング

「ええ～・・・！？これは絶対に行かなきゃなんねえんだろ・・・！？」

ネス

「マジで・・・！？通報されたくないし・・・！」

動けば、忍者やハンターに見つかるリスクが高まる・・・！

咲

「あつ、ハンターいる・・・！」

咲はすぐに身を隠す。

咲

「曲がり角にいれば見つからないかも……？」

その時……。

忍者

「……！」

忍者に、見つかった……。

♪ 3 6 3 5 8 — 4 2 6 0 ♪

咲

「……！？」

ハンター

「！」

見つかった……。

咲

「ぎゃあああああ～……いやあ～……」

咲は一目散に逃げる。

しかし至近距離で見つかった為、最早、逃走不可能……。

咲

「ふんぎゃあ～！～」

ポンッ

咲

「うわあ～、絶不調ナリ・・・！」

ソフトボール部のエース、ここに散った・・・。

ブルルルル

ヤング

「何だよ・・・！？『忍者の通報にて日向咲確保はあ！？咲が捕まつたのかよ！？』

翠星石

「ソフトボール部のエースが捕まつちゃつたの・・・！？」

蒼星石

「意外です・・・！？もう12人ですか・・・！？」

咲の確保に驚きを見せる、逃走者達・・・。

ネス

「あっ、近くだ・・・！？助かった」

ネス、偶然にも奉行の元へ到達した・・・。

> 36360 — 4260 <

奉行（役・シグナム）

「む、お前は・・・敵軍か？」

ネス

「いえ、違います・・・！」信じて下さることない

奉行（役・シグナム）

「なら右腕を見せろ」

ネス

「はい・・・！」

ネスは右腕を見せる。

奉行（役・シグナム）

「・・・敵軍では無をせつだ。お前を信じよつ

ネス

「ありがとうございます・・・！」

ネス ミッションクリア

ネス
「やつたあ・・・！」

ネスは奉行の近くから離れた・・・。

牢獄DEトーク

咲

「うわあ、最悪ナリ・・・!」

咲はトボトボと牢獄に入る・・・。

薔薇水晶

「咲・・・」ちらりと咲に向じよ

雛莓

「わたしなんかめっちゃじょばんで確保されたんだけどね〜・・・」

咲

「皆同じなんだね・・・まあ、ネガティブになるのは良くないよね！」

咲は元気を出す。

翠星石

「あつ、ハンター・・・!」

翠星石は急いで逃げる。

ハンター

「・・・」

しかし、ハンターは、まだ気づいていない・・・。

翠星石

「良かつたですぅ・・・・」

しかし・・・。

忍者

「一。一。一。一。」

忍者に、見つかった・・・。

翠星石

「一。一。一。一。」

ハンター

「一。」

見つかった・・・。

翠星石

「いやですぅ～！～！」こんな時こ・・・・」

翠星石は、田畠に逃げる。

しかし彼女がハンターを振り切れる訳がない。最早、逃走不可能・。

翠星石

「キヤア～！～」 ポンッ

→ 136361 — 4260 ←

翠星石

「ま、負けちゃったですぅ・・・!」

ローゼンメイデンの第3ドール、ここに散る・・・。

ブルルル

マリオ

「今度は何だ・・・!?』忍者の通報によつて翠星石確保
ついて翠星石までも・・・!?」

ヤング

「もう11人・・・!～どうなつてんだよコレ・・・!?」

蒼星石

「そんなん・・・!～捕まつたんですか・・・!?」

はやて

「たどり着いたわ……！」

八神はやて、奉行の元にたどり着く……。

奉行（役・シグナム）

「お前は……敵軍か？」

はやて

「違いますって……信じて下さること……！」

奉行（役・シグナム）

「なら右腕を見せる」

はやて

「はあ……」

はやては服の袖を捲くり、右腕を見せる。

奉行（役・シグナム）

「……よし分かった。お前の言葉を信じよう

はやて

「勿論ですよ……！」

八神はやて ミッションクリア

はやて

「もう～・・・しんどかつたわ・・・・！」

残る逃走者は、

水銀燈、金糸雀、蒼星石、真紅、祈里、なのは、フュイト、はやて、
マリオ、ネス、ヤングの11人・・・。

果たして、疑いを晴らす事が出来るのか！？

疑いを晴らせ！（後書き）

残る逃走者は、

水銀燈、金糸雀、蒼星石、真紅、祈里、なのは、フュイト、はやて、
マリオ、ネス、ヤングの11人・・・。

果たして、疑いを晴らす事が出来るのか！？

上手く忍者から免れろ（前書き）

残る逃走者は11人・・・。
(今回は長めです。)

上手く忍者から免れろ

ヤング

「チツ、ビリニツヒモコヌジヤン、忍者とハンターめ・・・・・・」

ヤングは身を隠しながら進んでいく。

真紅

「ううとうじいわね・・・・・・忍者は行動力が凄いわ・・・・・・」

真紅、思い通りに動けない・・・。

マリオ

「よつしゅや・・・・・・忍者からやつ過いせた・・・・・・」

マリオは身を隠しながら奉行の元に進んでいく。

奉行（役・シグナム）

「お前は・・・・敵軍か？なり・・・・」

マリオ

「俺は敵軍じゃないって・・・・・・」

奉行（役・シグナム）

「なら右腕を見せろ」

マリオ

「へイへイ・・・・」

マリオは服の袖を捲くつ、右腕を見せる。

奉行（役・シグナム）

「・・・どうやら敵軍では無さうつだ。お前の言葉を信じよつ

マリオ

「助かつたぜ・・・・・」

マリオ ミッションクリア

マリオ

「よつしゃへ、ミッションクリアだ・・・つてあれ水銀燈？」

マリオは奉行の元に水銀燈が走つて来る所を発見する。

水銀燈

「たどり着いたわ・・・・マリオ？」

マリオ

「奉行に右腕を見せるんだる？」

水銀燈

「それはわかつてゐわ・・・・」

水銀燈は奉行の元にたどり着く。

しかし、不幸な事に、忍者が2人に忍び寄る・・・。

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

忍者

見つかつた。・・・。

マリオ

水銀燈

「本当・・・！？ 何で一大事な時に忍者が来るのよー？」

ハンター

1

更に、見つかった。
・
・
・
。

2人は一目散に逃げる。

ハンターの標的は
・・・。

水銀燈

「……ああー！…？」

水銀燈だ
・
・
・
。

マリオ

「！？水銀燈の方が追われてやがるって……！？」

水銀燈

「ぐるなあ～！～」

その間にマリオは別の場所に逃げる。

水銀燈

「くつ・・・！しつこいわね・・・！～」

水銀燈はそのまま逃げ続ける。
しかしハンターとの距離がどんどん縮められて行く為、最早、逃走不可能・・・。

水銀燈

「ああうつー！」 ポンッ

> 136422 — 4260 <

水銀燈

「何故・・・！？」で終わるの・・・！？ああ、悔しい・・・！

！

上手く、行かなかつた様だ・・・。

プルルルル

マリオ

「あつ、『忍者の通報によつて水銀燈確保』・・・・・！」

フエイト

「減るスピードが異常じやない・・・・！」

金糸雀

「水銀燈も捕まつたかしら・・・・」

ネス

「うわあ、忍者厄介すぎると・・・・！」

はやて

「水銀燈確保か・・・・」

牢獄DEアーヴ

りんご

「もう10人・・・・確保ペースが半端ないよ・・・・」

薔薇水晶

「もしかしたらまた・・・・」

翠星石

「そこまでーー！ストップですーー！」

雛苺

「ヒナだつてみんなの逃走成功をねらつてるよ～」

エックス

「誰でも良いから逃げ切れ……！」

「……！」

なのは

「あつ、じつちだ……！」

なのはは自分の勘で進んで行く。

なのは
「あつ、行き止まりだ……！」

勘は外れた……。

蒼星石

「あつ、着きました……早く早く

蒼星石は奉行の元にたどり着く。

奉行（役・シグナム）

「お前は……敵軍か？」

蒼星石

「違います……！僕は敵軍ではありませんよ……！」

奉行（役・シグナム）

「なら右腕を見せる

蒼星石

「はー・・・・」

蒼星石は服の袖を捲くり、右腕を見せる。

奉行（役・シグナム）

「・・・敵軍では無むれただな。お前の言葉を信じよつ

蒼星石

「ありがとついざります・・・・・・」

蒼星石 ミッションクリア

蒼星石

「助かりました・・・・・・」

蒼星石は奉行から離れた。

フェイント

「よし、いいなら・・・・・・」

フェイントはすぐ自身を隠す。

しかし、忍者がフェイトに忍び寄る・・・。

アモイ

「あ、忍者だ……！」

フリイトは忍耐力反応し、すぐさま逃げる。

しかし、逃げた先に、ハンター……

4 2 6 0 \wedge 1 3 6 4 2 3 |

「ハンター！？」

「！」

見つかつた。・・・。

更に

忍者

更に、見つかった。
・
・
・。

フェイト

「…?」JRは元を返すわ…!」「

フェイトは一目散に逃げる。が・・・。

ハンター

「！」

後方からも、ハンターが迫り来る・・・。

フェイト

「！？また・・・！？」

挟み撃ちだ・・・。

フェイト

「びやあ～！～」 ポンッ

× 3 6 4 2 4 — 4 2 6 0 ×

フェイト

「嘘よ・・・！～何で挟み撃ちされるのよ・・・！？」

不幸な、フェイト・・・。

プルルルル

金糸雀

「何かしら・・・！？」『忍者の通報によつてフェイト・T・ハラオ
ウン確保』

フェイトが捕まつたかしら・・・！』

なのは

「フェイトちゃん……！つてもう残り9人……！？」

蒼星石

「忍者の奴……！何て事を……！？」

祈里

「こんな早く捕まるつて……！？」

残る逃走者は、

金糸雀、蒼星石、真紅、祈里、なのは、はやて、マリオ、ネス、ヤングの9人……。

果たして、この9人の逃走者は疑いを晴らす事が出来るのか！？

上手く忍者から免れろ（後書き）

残る逃走者は、

金糸雀、蒼星石、真紅、祈里、なのは、はやて、マリオ、ネス、ヤングの9人・・・。

果たして、この9人の逃走者は疑いを晴らす事が出来るのか！？

〃ミッション終了ーー更に幸運な事に・・・。（前書き）

クリアしていない者は、5人・・・。

〃シショソノ終ア！更に幸運な事に・・・。

〃シショソノ終ア！しかし・・・。

残る逃走者は、

金糸雀、蒼星石、真紅、祈里、なのは、はやて、マリオ、ネス、ヤングの9人・・・。

まだ疑いを晴らせていない者は疑いを晴らす事が出来るのか！？

ヤング

「えっと・・・まだ疑いを晴らせてねえのはメールによると、
金糸雀、真紅、祈里、なのは、俺の5人か・・・まだまだな・・・
・
ってか俺が急がないと行けねえぜ・・・！」

ヤングは奉行の元に大急ぎで向かう。

祈里

「どうしよう・・・！？忍者はいるし、ハンターはいるし、もう大
変だよ・・・！」

祈里、思い通りに動けない・・・。

なのは

「忍者がこる……！ 笛鳴らされたら万事休すだ……」

なのははすぐに身を隠す。

真紅

「あつたわ……奉行の元に着いた……」

真紅、奉行の元に到着……。

奉行（役・シグナム）

「ん？ お前は……敵軍か？」

真紅

「違うに決まってるじゃない……！ その証拠に右腕を見せるわ……」

真紅は服の袖を捲くり、右腕を見せる。

奉行（役・シグナム）

「……どうやら敵軍では無くなつだな。お前の言葉を信じよつ

真紅

「当たり前じゃない……！」

真紅 ミッションクリア

真紅

「しんどいわ・・・早くどこかに隠れましょ!・・・!」

真紅はすぐに隠れ場所を探した。

ヤング

「少しこれはキツイぜ・・・つて忍者いるつて・・・!・・しかもハンターも!・!」

ヤングはすぐに忍者とハンターから急いで離れる。

ヤング

「ああ〜、間一髪だ・・・!・!・!」

しかし・・・。

忍者

「ー・ルー・ツー・!・!・!・!」

もう一人の忍者に、見つかった・・・。

ヤング

「勘弁してくれよ・・・!・!しかもハンター迫つて来てる!・!」

ハンター

「!」

見つかつた……。

ヤング

「ぐあ～！？ちよつ、何で」「ひから来るんだよー？」

ヤングは一目散に逃げる。

しかし彼がハンターを振り切れる訳がない。最早、逃走不可能……。

ヤング

「うわあ～！！」　ポンッ

♪・↓36451—4260♪

ヤング

「ああ～、畜生……！忍者行動力凄すぎだら……！」

忍者は、神出鬼没で行動力がかなり高い……。

一度も忍者に見つからず動くのは、ほぼ不可能に近い……。

ブルルル

マリオ

「何だよ……！」『こんな時に……』『忍者の通報によつてヤングリ
ンク確保』

ついにヤングまで……。

ネス

「うわあ、ミッション結構活躍してたのに・・・!」

蒼星石

「ヤングさん・・・!」

牢獄DEトーク

雛莓

「もう8人だね~」

薔薇水晶

「誰が逃げ切るのかドキドキして来たわ」

咲

「でも、まだ60分台だよ?逃げ切るのは結構難しいって・・・」

水銀燈

「逃げ切る可能性は低いって事ね・・・」

フェイト

「誰でも一人でも良いから逃げ切つて・・・!3回連続全滅なんて全然嬉しくない」

金糸雀

「 」 ひりこもハンターがいるかしり ・・・

金糸雀は忍者やハンターに警戒する。

金糸雀

「 そろそろ自首しようかしら ・・・ 」

金に貪欲な、金糸雀 ・・・ 。

なのは

「 あつ、奉行の元に着いた ・・・ ！」

なのは、奉行の元にたどり着く ・・・ 。

奉行（役・シグナム）

「 お前は ・・・ 敵軍か？」

なのは

「 ・・・ つてこの人どつかで見た事がある様な ・・・ あつ、いや、私は敵軍ではありません！」

奉行（役・シグナム）

「 なら右腕を見せろ 」

なのは

「 はい ・・・ 」

なのはは服の袖を捲くり、右腕を見せる。

奉行（役・シグナム）

「・・・お前は敵軍ではなれやつだな。お前の言葉を信じやつ

なのは

「あつがとうござります・・・」

高町なのは ミッションクリア

なのは

「あへ、助かったわ・・・」

なのはは一安心する。だが、この先はまだ安心出来ない・・・。

祈里

「あれつ、なのはちゃん・・・?」

なのは

「祈里ちゃん?早く右腕見せよう

祈里

「勿論だよ・・・あつ、奉行!」

祈里、奉行の元に到着・・・。

奉行(役:シグナム)

「お前は・・・敵軍か?それとも・・・」

祈里

「私は敵軍ではありませんよ・・・！」

奉行（役・シグナム）

「なら右腕を見せろ」

祈里

「はい・・・！」

祈里は右腕を見せる。

奉行（役・シグナム）

「・・・どうやら敵軍じゃ無さそうだな。お前の言葉を信じよ！」

祈里

「助かりました・・・！」

山吹祈里 ミッションクリア

祈里

「ありがとうございます・・・なのさちゃん、ここから離れようよ

なのは

「そうだね・・・！疑いを晴らした人は忍者に追われなくなるよ

2人は奉行の元から離れた。

だが、ただ一人、クリア出来ていない者がいる・・・。

その人物とは・・・。

金糸雀

「なつ、クリア出来てないのはこちらだけかしら・・・!？」

ローゼンメイデンの第2ドール、金糸雀だ・・・。

金糸雀

「早く向かおうかしら・・・!」

金糸雀は足を急がせる。

だが・・・。

忍者

「一。二。三。」

忍者に、見つかった・・・。

金糸雀

「あつ、後もう少しなのに・・・!」

金糸雀は奉行の元に大急ぎで向かう。だが・・・。

ハンター

「！」

向かつた先に、ハンター・・・。

金糸雀、最早、逃走不可能・・・。

金糸雀

「ギャア～～！」　ポンッ

♪ 136452 — 4260 ♪

金糸雀

「うわあ、最悪！－残り60分で確保！？折角貯めたお金が水の泡になっちゃった・・・！」
もうどうしようかしら・・・！」

薔薇水晶と同じ皿にあつた、金糸雀・・・。

プルルル

蒼星石

「何ですか・・・？」『忍者の通報によつて金糸雀確保』
「うわっ、もう7人ですか・・・？」

マリオ

「これはキツイ……！」更に
『全員無事に疑いを晴らせ、忍者に通報されなくなつた』けどよ…
・・・！」

これで残る逃走者は、

蒼星石、真紅、祈里、なのは、はやて、マリオ、ネスの7人……。

この厳しい状況から、誰が逃げ切るのか……？

その頃、姫の屋敷にて……。

姫（役・キャロ・ル・ルシエ）

「私の秘法、時の鏡は無事盗まれていない様ですね……」

姫は最上階にて時の鏡を見守つている。

その時……。

カーン！カーン！

突然、鐘が鳴り出した！！

『敵軍が攻めてきました！全員、避難して下さい……』

と言われた同時に住民は全員安全な地に避難した。

敵軍A

「「」が姫の屋敷か……焼き払え……」

敵軍全員

「オーッ……！」

そう言うと同時に敵軍全員は火をつけた。

姫（役：キャロ・ル・ルシエ）

「……火が迫つて来てます……！」

「誰か助けを呼びましょう……！」

そう言うと姫は時の鏡を使用し、牢獄の前に復活の珠を台座の上に出現させた。

姫（役：キャロ・ル・ルシエ）

「大勢いた方が助かります……！誰か……！」

真紅

「……！？城が燃えてる……まさか……！」

マリオ

「敵軍が攻めて来たらしいな……これは危ねえぜ……！」

ネス

「うわっ、ここにも敵軍がいるよ！？一体どうしちゃったの……？」

その時。

プルルルル

祈里

「・・・・・! ? ミッション4 ー?」

マリオ

「『牢獄の前に復活の珠が置かれた台座が出現した
復活・・・まさか! ! !』

ネス

「『残つて いる逃走者は誰でも一人でいいので5つの復活の珠に全
て触れれば』」

はやて

「『ランダムで5人復活出来る』凄いでーーこれは早く復活させな
いと! ! !』

牢獄DEトーク

金糸雀

「うわっ、焦げ臭い! ! !』

水銀燈

「どうやら敵軍が攻めて来たよ うね・・・しかもたいまつを持つて
いるのが見えるわ・・・

ヤング

「それよりもさ、復活だぜ? ランダムでよ・・・だけど誰が復活出

来るのかわからんけど」

残る逃走者は、

蒼星石、真紅、祈里、なのは、はやて、マリオ、ネスの7人。

果たして、5人を復活出来るのか！？

//シショングル終ア！更に幸運な事に・・・。（後書き）

ここで、復活者を募集します。

一人一回のみ投票。ここで確保者を紹介します。

（捕まつた順）

アクセル

エックス

離
莓

ゼロ

ソニック・ザ・ヘッジホッグ

アミティ

あんどうりんご

アルル・ナジヤ

薔薇水晶

日向咲

翠星石

水銀燈

フェイト・T・ハラオウン

ヤングリンク

金糸雀

先着5名様です。確保者の名前を一人だけ書いて投票して下さい（
被り禁止です）

投票は活動報告で受け付けてます。

制限が結構ありますが、投票よろしくお願いします。

5人を復活せよ！（前書き）

果たして、残る逃走者は5人を復活出来るのか！？

5人を復活せよ！

残り50分までに復活の珠に触れないと、5人を復活出来ない！！

マリオ

「人任せだ・・・・！」

ネス

「捕まるのが怖いから行かない・・・・！」

真紅

「これは・・・行かない方がいいわ！！」

なのは

「行かない・・・・！」

はやて

「これはなあ〜・・・行かない方がいいかもな」

祈里

「どうしよう・・・ここは行かない方が

蒼星石

「行きます・・・！5人を復活させます！！」

約6名が、人任せの様だ・・・。

動けば、ハンターに見つかるリスクが高まる・・・！！

マリオ

「よっしゃ・・・・・ハンター俺を見つけてねえ・・・・・」

殆どハンターに追われた事が無い、マリオ・・・。

果たして、彼が逃走成功となるか。

しかし、彼の近くに、ハンター・・・。

ハンター

「・・・・」

しかし、ハンターは、まだ気づいていない・・・。

マリオ

「ふう〜、危ねえ危ねえ・・・・・見つからなくて良かつたぜ・・・

!-!

マリオ、あまり動く気は無さそうだ・・・。

牢獄DEトーク

ヤング

「やつてくれる奴は結構少ないと想ひついで?」

水銀燈

「やつてくれる奴は祈里か蒼星石かはやてとなのはの4人ぐらいね。
・
・

ソーック

「えらい可能性のある奴少ねえな、水銀燈・・・」

蒼星石

「いじは・・・あつ、ハンターいます・・・!」

蒼星石はすぐにハンターから離れる。

ハンター

「・・・」

ハンターは、まだ気づいていない・・・。

蒼星石

「良かつたです・・・気づかない内に動きましょ!」

蒼星石、慎重に動く・・・。

なのは

「自首じよつかな・・・でも、自首したらいつに恥をかく」とになる
し・・・

自首とは、電話ボックスで自首を報告すればそれまでの時点の賞金

を獲得出来る。

ただし、自首をすれば好感度は、下がる・・・。

真紅

「ハンター・・・! ? すぐに身を隠そう・・・! 」

真紅はすぐに身を隠す。

真紅

「ああ、鬱陶しいわ・・・・! ? れじや何時まで経っても動けない
じゃない・・・! 」

思つ通りに動けない、真紅・・・。

牢獄DEトーク

ソニック

「誰も来る気配がねえな・・・」

水銀燈

「もしかしたら誰も来ないんじゃ・・・」

金糸雀

「冗談じゃないから・・・! ? 絶対いるよ! 」

ヤング

「それにしても、残り45分だぜ？間に合つのか……？」

薔薇水晶

「その考えは止めまじょう……」

ネス

「男の逃走者は僕とマリオだけか……何かプレッシャーかかる

ネス、動きたい様だが上手く動けない……。

はやて

「もう44分や……誰か復活者はいるんか？」

はやて、復活者が出でくる事を祈る……。

蒼星石

「ハンターどこに行つてもいるじゃないですか……！」

全く、ハンターは神出鬼没ですね……！」

蒼星石、ハンターに見つからない様、慎重に動く……。

蒼星石

「……ハンター早くどうか行つて下さい……！」

蒼星石、無闇に動けない・・・。

牢獄DEAーク

ヤング

「つてもつ後1分だぜ・・・!」時が流れるのが早すぎる・・・。

「!」

全員

「ええつーー?」

その時、蒼星石が牢獄の前にたどり着いた・・・。

蒼星石

「蒼さん・・・!」と着きました・・・!」

ヤング

「蒼星石!—あの時話になつた・・・!」

咲

「あつがとつ蒼星石!—せつてくれると細つてたよ!—!」

蒼星石

「咲さん僕を信頼してたんですね・・・じやあ触れますよ!」

蒼星石は5つの復活の珠に触れる。

それと同時に5人の確保者が牢獄の外にワープされた。

復活者は・・・?

ヤング

「俺か!? やつたぜ!-!-」

フェイト

「ありがとう蒼星石!-!-」

エックス

「序盤で捕まつた俺が・・・!-」

水銀燈

「忝い・・・!-」

ソニック

「助かつたぜ!-!-サンキュー蒼星石!-!-」

この5人だ・・・。

> 3 6 4 6 4 — 4 2 6 0 <

5人は元気良くエリア内に走つて散らばつて行つた・・・。

プルルルル

真紅

「えっと・・・何々・・・『復活情報』まさか！！」

マリオ

「『蒼星石の活躍』によつて、水銀燈、フェイト・T・ハラオウン、ヤングリンク、ソニック・ザ・ヘッジホッグ、エックスの5人が復活した』おつ、スマブラ組全員復活したか！－ナイスだ蒼星石！－」

祈里

「凄いよ蒼星石君・・・頑張ったね！－」

蒼星石の活躍により残る逃走者は、
水銀燈、蒼星石、真紅、祈里、なのは、フェイト、はやて、マリオ、
ネス、ヤング、ソニック、エックスの12人。

果たして、12人の逃走者はハンターに打ち勝てるのか！？

5人を復活せよ！（後書き）

蒼星石の活躍により残る逃走者は、
水銀燈、蒼星石、真紅、祈里、なのは、フェイト、はやて、マリオ、
ネス、ヤング、
ソニック、エックスの12人。

果たして、12人の逃走者はハンターに打ち勝てるのか！？

〃ミシマノ5発動一（前書き）

また、新たなミシマノンが発動される・・・・・！

//ミッション5発動！

その頃、姫達は家来に頼んで火を消火し、敵軍は無事追い払った。。

姫（役：キャロ・ル・ルシエ）

「さてさて・・・この時の鏡で街の様子を見てみましょう

姫は時の鏡を使い、街の様子を映す。。。

姫（役：キャロ・ル・ルシエ）

「・・・？何ですかこの装置は・・・？」

姫、謎の装置に疑問に思う。

謎の装置には、2つのレバーが着いており、各エリアに一つずつ設置されていた。。。

合計、5つ。。。

プルルルル

ネス

「うわっ！？何だよ・・・！？」各エリアに一つずつハンターボッ

クスが設置された『

ハンターボックス！？』

マリオ

「『残り30分までに合計5つのハンターボックスを阻止しなければ』

水銀燈

「『5体のハンターが放出される』本当に・・・！？」

真紅

「『尚、阻止するにはボックスの左右に着いている2つのレバーを2人で協力し』」

ヤング

「『同時に降ろさなければならぬ』・・・！ヤバえよこりや・・・！」

ソニック

「これは合計すると・・・約10人の逃走者が必要だな・・・！」

ヤング

「蒼星石の為にも、やるしかねえぜ・・・！開始早々すぐ捕まつたら恥をかかせてしまうからな・・・！」

ソニック

「『』の自慢の足で、逃げ切つてやるぜ・・・！」

水銀燈

「蒼星石のお陰で助かつたわ・・・!」

フェイト

「私達が頑張らないとね!-!」

エックス

「俺等だつて、やつてやるぜ・・・!」

牢獄DEトーク

金糸雀

「今度はハンター放出を阻止するのかしら?..」

薔薇水晶

「皆無事クリアしなさいよ・・・!」

りんご

「皆、頑張つて!-!」

マリオ

「今回も人任せだ・・・!-!」

しかし、彼に忍び寄る、ハンター・・・。

> 3 6 4 6 8 — 4 2 6 0 <

ハンター

「！」

見つかった・・・。

マリオ

「このままやり過ごすか・・・つてハンターーー？」

マリオは一目散に逃げようとしたが
行き止まりな為、最早、逃走不可能・・・。

マリオ

「お、ふ、あ～～！！」 ポンッ

> 3 6 4 6 9 — 4 2 6 0 <

マリオ

「俺が・・・！！スーパースターの俺が恥ずかしい事をした・・・

！」

任天堂のスーパースター、復活者が出て数分で散った・・・。

プルルルル

ネス

「こんな時に何・・・！？あつ、『マリオ確保』・・・！」

水銀燈

「でも、王イツ結構生き延びてたじゃない？」

ソニック

「シホ、セイジがおもむりと頑張ってくれるよ。」

卷之三

蒼星石

「ああ、はい？」

祈里、蒼星石と合流・・・。

忻里

「君、凄いね。・・・復活者出したなんて・・・!」「

蒼星石

「いや、それほどでもありませんよ。あつ、それより近くにハンターボックスがありますから、早く降ろしてしまいましょう。・・・！」

祈里

「 そ う だ ね ・・・ 」 早 く 降 る そ う 」

2人はハンター・ボックスの元に駆け寄り、2つのレバーに近寄る。

2人

「せーの・・・・！」

2人は同時にレバーを降ろす。

ハンター ボックス1個阻止成功。残り4個。

蒼星石

「やりましたね・・・・！ あつ、ハンターいますよ・・・・！」

祈里

「本当・・・・！？」

2人はすぐにハンターから大急ぎで離れる。

ハンター

「・・・」

しかし、ハンターは、まだ気づいていない・・・。

ネス

「あつ、1個阻止出来た様だね・・・・！ 僕も手伝わなきや・・・・！」

ネス、ミッションに動く・・・。

だが、彼に迫る、ハンター・・・。

ハンター

「！」

見つかった・・・。

ネス

「あっ、じつちかな・・・? じつちに進もう

しかし、ネスは、まだ気づいていない・・・。

ハンター

「・・・」

ネス

「よし・・・ハンターいな・・・って後ろからあ〜〜?」

ネスは一目散に逃げる。

しかしハンターとの距離があまりにも近すぎた為、最早、逃走不可能・・・。

ネス

「ひぎやあ〜〜!」 ポンッ

> 3 6 4 7 0 — 4 2 6 0 <

ネス

「嘘だろ・・・！？僕がこんな目に会つとは・・・？」

「ネス、あっけなく終わつた・・・。

プルルルル

ソニック

「何だよ・・・！？『ネス確保』うわあ、ついにネスまで・・・！」

真紅

「もう10人・・・！？早くも2人が確保されてるわ・・・！」

水銀燈

「あつ、エックス・・・！」

エックス

「何だよ・・・！？今忙しいんだからさ・・・！」

水銀燈

「いや、貴方もミッションやるんでしょう？」

エックス

「・・・当たつてゐな。折角会つたから合流しちまおうぜ」

水銀燈

「人手が多くて助かつたわ・・・！」

水銀燈、エックスと合流・・・。

果たして、残る4個のハンター・ボックスの放出を阻止出来るのか！？

〃ミッション5発動！（後書き）

果たして、残る4個のハンター・ボックスの放出を阻止出来るのか！？

ハンター放出を阻止せよ（前書き）

残る逃走者は、10人……。

ハンター放出を阻止せよ

牢獄DEトーク

りんご

「もう残るは10人だね・・・もう誰でも良いから逃げ切つてよ・・・！」

水銀燈、真紅、祈里、ヤング、フェイト、ソニック、なのは、はやて、エックス、

この中、誰でも一人で良いから逃げ切つて欲しい・・・！10人とも頑張つて・・・！」

薔薇水晶

「皆を応援しましょう。皆さん、頑張つて！！応援してるから！！！」

ネス

「いよいよ結構後半に近づいてきたね・・・！」

ヤング

「あっ、あつた・・・！・・・だけでもう一人いねえと・・・！」

その時、真紅がヤングの側に駆け付けてきた。

真紅

「ヤング・・・！？早く止めないとヤバイよ・・・！？」

ヤング

「わあつてゐよ・・・!! 誰か来るの待つてたんだよ・・・!!
お前、手伝つてくれ・・・!!」

真紅

「当たり前じやないの・・・!!」

2人はレバーを同時に降ろす。

ハンター ボックス1個阻止成功。残り3個。

ヤング

「これで残るは3個・・・!! つて近くにハンターいるつて!!」

真紅

「早く逃げないと!!」

ハンター

「!」

見つかつた・・・。

2人は一目散に逃げる。

ハンターの標的は・・・。

ヤング

「俺か」！？「

ヤングリンクだ・・・。

ヤング

「ちよつ、復活してから全然経つてないってーーこっち来るなよ！？」

最早、逃走不可能・・・。

ヤング

「ギャア～！～」 ポンツ

> i 3 6 4 8 9 — 4 2 6 0 <

ヤング

「ちよつと待てよ・・・！？俺蒼星石にめっちゃ酷い事したぞ、俺・・・！」

復活組、早くも一人確保・・・。

プルルルル

蒼星石

「何ですか・・・！？『ヤングリンク確保』嘘でしょ！？
もう捕まつたんですか！？」

エックス

「マジかよ・・・！？今回の逃走中は何かがおかしいぞ・・・！？」

ソニック

「本当かよ・・・！？これはガチで急がねえと・・・！」

なのは

「復活者が出てマリオ君とネス君とヤング君が確保された・・・
つて全員スマブラ組じゃん・・・」

なのははここまで全員スマブラ組が確保されている事が分かつた・・・
。

なのは

「残るは9人・・・！？結構クリアキツくなつて来たわ・・・！」

なのはも、ミッション参加だ・・・。

エックス

「ちょっと急げよ・・・！？ハンター放出まで後9分だつて・・・
！」

水銀燈

「ウダウダうるさいわね・・・急いでるって言つてるでしょ・・・
！」

水銀燈はかなり足を急がせている。

エックス

「早く！！」

水銀燈

「黙れ！！」

よつやく、ハンターボックスにたどり着いた。

2人

「せーの・・・！」

2人は同時にレバーを降ろす。

ハンターボックス1個阻止成功。残り2個。

水銀燈

「ああ〜、疲れたわ・・・！」

2人は別々に行動した。

ソニック

「ハンター放出は危ねえよな・・・行つとくか。ここは狭い道だから早めに抜けといた方が良いよな・・・！」

ソニック、ハンター放出の阻止に向かっている。

しかし、前方からも、後方からも、ハンター・・・。

ソニック
「・・・!? ハンターいるつて！？ うわあっ、2体も！？」

ソニック、万事休す・・・。最早、逃走不可能・・・。

ソニック
「おわあっ！！」 ポンッ

> 136490 — 4260 <

ソニック

「マジかよ・・・!? 俺何もしてねえぞ・・・！？」 うわあ、皆に恥
かいたし・・・！」

蒼星石、I'm sorry!-!

ソニック、出番を見せられなかつた・・・。

プルルルル

エックス

「だから何だよ・・・・!?『細道にてソニック・ザ・ヘッジホッグ確保』

ていうかソニック、あまり出番見せてなかつたじゃねえか・・・・!?

真紅

「ハンターはどれだけ早いのよ・・・・?つてか蒼星石に失礼じゃない・・・・!?

蒼星石

「ええ〜!?早く捕まつたんですか!?何ですか・・・・!?

エックス

「つて、男の逃走者俺だけ・・・・!?うわっ、一気にブレッシャーかかつて来た・・・・!?

唯一の男性逃走者、エックス・・・・。

果たして、彼が逃走成功なるか。

なのは

「更にソニック君まで・・・・!?あんなに早いソニック君が!?
しかも復活組で早く捕まつちやつてるよ・・・・!
これは何かがおかしいよ・・・・!?

なのははソニックの確保に疑問に思つ。

牢獄DEトーク

ソニック

「残りは8人か・・・ってか俺、何も良い所見せてねえじゃねえか・・・！」

ソニックはトボトボと牢獄に入る。

薔薇水晶

「ヤングも同じ事よ、気にしないで」

ヤング

「俺の方がお前より先に捕まつたんだぞ・・・！」

残る逃走者は、

水銀燈、蒼星石、真紅、祈里、なのは、フェイド、はやて、エック
スの8人。

果たして、ハンター・ボックスを阻止し、逃走成功出来る者はいるのか！？

ハンター放出を阻止せよ（後書き）

残る逃走者は、

水銀燈、蒼星石、真紅、祈里、なのは、フェイト、はやて、エック
スの8人。

果たして、ハンターボックスを阻止し、逃走成功出来る者はいるの
か！？

残るは8人、そして・・・。（前書き）

残る逃走者は、8人・・・。

果たして、ハンター放出を、阻止出来るのか！？

残るは8人、そして・・・。

なのは

「もう8人・・・！」つなつたら動くしかない・・・！」

なのは、ミッションに動く・・・。

はやて

「これは人手が足りへんのちゃうんか・・・？だから行かんとアカンわ・・・！」

はやて、確実にミッションを成功させる為に動く・・・。

エックス

「もうしちゃい・・・」からどうしようか・・・！」

エックス、まだ動こうか悩み中・・・。

フェイト

「蒼星石に復活してもらつた恩を返す為、絶対に成功させよう・・・！」

フェイト、蒼星石に恩を返す為、ミッションに動く・・・。

牢獄DEトーク

ヤング

「いよいよ男性陣が1人になっちゃったか……」

ソニック

「残るは女性7人と男性1人だな」

薔薇水晶

「一寸待つてよ……男性陣情けなさすぎじゃなこの……？」

アミティ

「あとエックスが捕まれば、男性逃走者全滅だし……」

はやて

「よしよし……早くも着いたで……！」

はやて、装置に到着……。

はやて

「でも、誰か来あへんとアカン……ほんま誰か来てや……！」

はやて、足を急ぎ呟……。

蒼星石

「あつ、ソリにもハンターがいます……！」

蒼星石、近くの草むらに隠れる・・・。

蒼星石

「残るは8人・・・僕達が頑張らないと行けません・・・」

蒼星石、意地でもミッションを成功させたい様だ・・・。

エックス

「おい、マジかよ・・・！」ここにもハンターいるじゃねえかよ・・・！？」

エックスは隠れ場所をハンターに見つからぬ様に変える。

ハンター

「・・・」

ハンターは、まだ、気づいていない・・・。

エックス

「危ねえ危ねえ・・・！」

しかし、逃げた先にも、ハンター・・・。

> 36558-4260 <

ハンター2体

「！」

2体共に、見つかった・・・。

エクス

「よし、上手くやり過げた・・・つでハンター2体ともかよ!？」

エックスは一目散に逃げようとするが、ハンターが2体、更には行き止まりな為、最早、逃走不可能。。。

エックス

4260 V 560963H.V

エックス

「ああ！？ 反則だろ ハンター2体で……！！ しかも復活組で3番目に確保されてるし……！」

ついに、力尽きた。・・・。

フルルルル

真紅

「何よ・・・!」んな忙しい時に・・・!」なつ
コニツヤく置物
うづこ

蒼星石

「男性陣の復活組何やつてるんですか・・・！？折角復活させたの

に・・・!—

フェイト

「ていうか、男の逃走者全滅じゃん!—?」

牢獄DEトーク

ソニック

「男の逃走者全滅か・・・」

雛莓

「本当に、なにやつてたの?・・・!—?」

金糸雀

「情けない事が2つあるかしら・・・!—!」

これで残る逃走者は、

水銀燈、蒼星石、真紅、祈里、なのは、フェイト、はやての7人。

全員、女性のみ・・・。

真紅

「男性は使えないわね・・・私等が頑張らないと・・・!—!」

なのは

「絶対に、成功してみせる……。」

はやて

「誰か……！早う来てえや……。」

水銀燈

「残り7人……！絶対に逃げ切つてみせるわ……。」

フェイト

「意地を見せてみせる……。」

蒼星石

「ここで確保されたら全てが水の泡です……！僕も逃げ切らな
いと行けません！！」

祈里

「ハンター放出なんて、絶対にさせないよ……。」

全員、気合を入れている……。

果たして、このミッションは成功なるのか！？

残るは8人、そして・・・。（後書き）

全員、気合を入れている・・・。

果たして、このミッションは成功なるのか！？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0044z/>

スマプラ×ゲームキャラ、アニメキャラ逃走中 『オータムヴィレッジ編』

2011年12月5日19時01分発行